

第4次総合計画 総括シート

大綱	美しい自然と快適空間の形成
----	---------------

1. 施策別の達成状況

施策目標		達成状況 (...目標を超えて達成、 ...目標どおり達成、 ...一部の目標が未達成)	
- 1	自然環境の保全、地球環境の保全 (環境福祉部)	主な実績と評価	本市が補助して市民が設置する太陽光発電システムは、固定価格買取制度の導入や、再生可能エネルギーの普及などを受け、予想以上のペースで設置が進んでいる。本市は、この太陽光発電設備で生み出された二酸化炭素を排出権として取引するなど、その効果を有効に活用している。また、市民等の出資により太陽光発電事業を行い、売電利益を地域産品等で還元するなど新しい取組みを推進している。
		課題と今後の対応	現在、国のエネルギー政策や空き家対策に関する政策など生活環境に影響のある政策が大きく変化しているため、関連法の改正や社会情勢の変化を注視し、市民ニーズの高い環境施策を実施しなければならない。
- 2	循環型社会の構築、廃棄物処理の推進、水道の整備、下水道の整備 (環境福祉部、クリーンセンター、水道局、都市建設部)	主な実績と評価	平成7年の「ごみ非常事態宣言」当時と比較して、景気等の要因はあるものの、1人当たりのごみ排出量は着実に減少し現在は全国平均を下回っているなど、ごみ減量・リサイクルが推進されている。念願のクリーンセンターは、平成27年12月に供用開始する予定である。下水道整備では、平成24年度から平成27年度の4か年で小田中浄水場更新事業に取り組んでいる。下水道は、普及率が年平均1%向上しており、吉井川以南の地域への事業に着手した。
		課題と今後の対応	小田中浄水場の更新事業は、稼働中の施設内での更新工事であり、かつ、極めて大規模な工事となっているため、不測の事態にも対応できるよう慎重に進める必要がある。

2. 施策別の代表的な成果指標の達成度

- 1	河川水質の環境基準達成率 (環境福祉部)	指標の説明	吉井川・加茂川の流域(市内51か所)で実施した水質検査の値のうち、国の水質基準を達成した値の割合									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			100.0%			100.0%				100.0%
		実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	達成状況の評価	公共下水道や合併処理浄化槽の整備が順調に進んでいることや、市民の環境意識が高い水準で維持されていることから、調査した全地点で国の水質基準値を達成することができた。										
- 1	太陽光発電システム設置数(累計) (環境福祉部)	指標の説明	本市の補助制度を活用した整備された住宅用太陽光発電システム(10kw未満)の設置数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値										649件
		実績値							156件	311件		
	達成率						24.0%	47.9%				
	達成状況の評価	平成24年度、25年度の実績値は、平成27年度の目標達成に向けて順調に推移している。しかし、平成26年度以降は、「住宅用」の要件である定格出力10kwを超えて設置する市民が増加していることから、システム設置数自体は増加しても、本指標の達成率は伸び悩む見通しである。										
- 1	省エネ法に基づく 市有施設のエネルギー 使用量の削減量 (環境福祉部)	指標の説明	市有施設のエネルギー使用量(平成23年度を基準年度)を、年1%づつ削減した場合のエネルギー削減量									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値										8,603kl
		実績値							9,585kl	9,660kl		
	達成率						111.4%	112.3%				
	達成状況の評価	年1%の削減目標達成は順調に推移しており、節電活動やエネルギー管理システムの導入等により、平成27年度の目標値を平成25年度実績時点で既に達成した。										
- 2	一般廃棄物総排出量(全域) (環境福祉部)	指標の説明	ごみの減量を目的とした、一般廃棄物の排出総量									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			36,098t			32,790t				31,982t
		実績値	38,649t	37,942t	36,870t	35,867t	34,892t	35,076t	34,698t	34,506t		
	達成率	92.9%	94.9%	97.9%	90.6%	93.6%	93.0%	91.5%	92.1%			
	達成状況の評価	1人1日当たりのごみ排出量から判断すれば、着実にごみ減量が進んでいるが、目標達成には至っていない。現在のごみ減量施策を基本に、リサイクル事業の推進や啓発活動を通じて更なるごみ減量を図る。										
- 2	生ごみ処理機器普及件数 (環境福祉部)	指標の説明	ごみ排出量の減量を目的とした、本市の補助制度を活用した生ごみ処理機器の設置件数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値										286件
		実績値							220件	307件		
	達成率						76.9%	107.3%				
	達成状況の評価	平成25年度から、電気式生ごみ処理機購入補助金の限度額を2万円から3万円に引上げ、普及促進を図っており、その成果は着実に表れている。目標達成に向け、今後も当該補助制度の広報を図る。										

-2	小規模飲料水供給施設の設置数(累計) (環境福祉部)	指標の説明	水道未整備地域に整備された小規模飲料水供給施設(給水人口が20人以上100人以下の水道)の設置数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値						2か所				6か所
		実績値				0か所	1か所	2か所	3か所	5か所		
達成率				0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	83.3%				
達成状況の評価	平成26年度に、上横野(真明・岩倉)地区で整備されたことにより、現時点で施設整備補助の要望がある地域においては、設置が完了した。											
-2	汚水処理施設整備率(普及率:公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽) (都市建設部)	指標の説明	全人口に対する汚水処理施設の処理人口(水洗化の種類は問わない。合併処理浄化槽の民間設置分除く。)の割合									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			52.6%			54.9%				56.0%
		実績値	46.4%	48.1%	49.3%	50.3%	50.6%	51.4%	52.5%	53.7%		
達成率	88.2%	91.4%	93.7%	91.6%	92.2%	93.6%	93.8%	95.9%				
達成状況の評価	平成26年度末見込みで54.7%(達成率97.7%)であり、実績値が平均で年間約1%アップしていることから、目標達成の可能性は高く、整備は着実に進んでおり、衛生的で快適な生活環境の実現と良好な水環境の保全に貢献している。											
-2	騒音の環境基準達成率 (環境福祉部)	指標の説明	主要道路の近傍や住宅地(市内20か所)で実施した騒音測定の値のうち、市の基準を達成した値の割合									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			90.0%			90.0%				100.0%
		実績値	77.8%	77.8%	77.8%	88.9%	100.0%	75.0%	95.0%	95.0%		
達成率	86.4%	86.4%	86.4%	98.8%	111.1%	83.3%	95.0%	95.0%				
達成状況の評価	アイドリングストップ自動車・ハイブリッド自動車・電気自動車など自動車の技術革新、道路舗装技術の向上など、複合的な要因から、市の基準値を達成した測定地点が増加しており、騒音環境が改善されている。											
-2	公害等苦情件数 (環境福祉部)	指標の説明	市に対して申立てがあった騒音・悪臭・野焼きなどの生活公害の件数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			70人			90人				100人
		実績値	109人	62人	135人	95人	55人	96人	78人	75人		
達成率	155.7%	88.6%	192.9%	105.6%	61.1%	106.7%	78.0%	75.0%				
達成状況の評価	原因発生者に対する指導のほか、環境美化の啓発活動により、苦情件数は減少傾向にある。											

3. 施策別の代表的な主要事業の評価(平成18年度～25年度は実績、平成26年度～27年度は参考値)

事業名	事業の説明	事業費	前期	中期	後期	事業の評価	今後の課題 (事業継続中の場合に記入)
			H18	H21	H24		
			H19	H22	H25		
			H20	H23	H26		
					H27		
-1	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業 (環境福祉部)	住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対し、その費用の一部を助成することにより、新エネルギーの普及促進を図る。				再生可能エネルギーの普及を促進するために創設した本助成制度は、これまでの利用実績から、初期の目的を達成することができた。	住宅に設置する太陽光発電システムの定格出力が10kWを超える例が増えており、本助成制度利用の件数が減少傾向にある。予算の縮小等の検討要。
	地域区分	全域					
	事業費	54,302千円					
-2	津山圏域クリーンセンター整備事業 (クリーンセンター建設事務所)	平成21年4月1日に、1市4町で津山圏域資源循環施設組合を設立し、クリーンセンター建設・管理・運営を行う。領家地内に、熱回収(焼却)施設、リサイクル施設、最終処分場を一体整備し、平成27年12月に供用開始予定。				廃棄物処理施設の新設は、20年以上にわたり本市の最重要課題の1つであったが、第4次総合計画の最終年度である平成27年度中に供用開始となる見込み。施設運営は、民間事業者が一括して担い、最新の技術とノウハウを導入する。	近隣住民の理解を得ながら、安全に施設の管理運営を行う。
	地域区分	全域					
	事業費	986,820千円					
-2	公共下水道整備事業および合併処理浄化槽設置事業 (環境福祉部)	生活環境改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質改善を図るため、汚水管渠の設置や浄化センターの整備、合併処理浄化槽設置事業を実施する。				この10年間で汚水処理整備率を10%向上させ56%にすることを目標としてきた。計画的な事業推進を行った結果、現時点で約8%向上しており、順調に整備率が向上していると言える。	供用開始地区内において下水道への接続率を高めることが、今後の課題である。
	地域区分	全域					
	事業費	26,721,432千円					
-2	簡易水道(加茂、加茂郷、下津川)事業統合事業 (環境福祉部)	簡易水道の水質の維持向上、会計の健全化を図るため、上水道事業に統合。加茂・加茂郷の各簡易水道は、飛び地として一元管理する。下津川簡易水道は、既存の上水道に接続して統合する。				平成29年度の上水道統合に向けて、浄水場・老朽管の更新工事を実施している。また、企業会計への移行のため、財産整理事務を行っている。なお、下津川簡易水道については、上水道に統合済みである。	上水道統合時まで、料金の一本化に向けた地元調整が必要である。
	地域区分	加茂					
	事業費	1,051,841千円					
-2	阿波簡易水道基幹改良事業 (環境福祉部)	老朽化が進んだ阿波簡易水道の施設(配管延長3.5km、ポンプ改良6台他)の更新を実施。				更新工事については、完了した。現在、企業会計への移行のため、財産整理事務を行っている。	上水道統合時まで、料金の一本化に向けた地元調整が必要である。
	地域区分	阿波					
	事業費	140,999千円					